

# 音楽学部

音楽文化創造学教授 田中 範康

## 1. 研究活動

a 演奏会・展覧会・競技会等の名称・著書・論文・作品等の名称（項目ごとに記入する）	b 発表または発行の年月日	c 演奏会・展覧会の会場・主催等または論文等の発行所・発表雑誌等の名称	d 発表・展示・作品等の内容等・論文概要等（共著の場合のみ編者・著者名を記入）
作品発表			
「Poem」 -クラリネットとピアノの為の-	2010. 5. 18	名古屋芸術大学 音楽講堂	本学と姉妹校提携をしているバリ・エコールノルマル音楽院との交歓演奏会。演奏はCl竹内雅一、Pf山田敏裕。音列によって組まれたクラリネットパートとピアノパートの異なる音群を終始有機的に組み合わせ、互いの楽器が呼応しながら全体を構成している作品。
クラリネットと、ピアノ、エレクトロニクスのための <Spakling in the Space>	2011. 1. 21	洗足学園大学 前田ホール	日本現代音楽協会・特別演奏会「フュージョン・フェスタII」にて、初演。本作品はAcoustic サウンドに様々な電子変調によって作られた電子音、並びにMax/MspによるReal-time processingを加え、新たな音の世界を構築した。演奏はCl竹内雅一、Pf山田敏裕、音響・岡野憲石、MaxMsp・吉川教
CDリリース			
Works of Noriyasu Tanaka	2011. 1.	ALM Records	2007年より2009年にかけてレコーディングした室内楽8作品による3枚目のアルバムである。レコーディングは国内の著名アーティストの他、ベルリンフィルハーモニーのメンバーにより、名古屋、ベルリンで行われた。収録作品 = 「形象I～V」「Twilight」「Air」「音の彫刻」 演奏者 三上明子(Fl) 小林美恵(Vn) 松山元(pf)Wenzel Fuchs(Cl) David Riniker(Vc) Julia Gartemann(Va) 他 Tonmeister Eberhart Hinz
楽譜出版			
「Air」 fpr Fl,Pf	2011. 3.	(株) マザーアース	2006年9月にザルツブルクの音楽祭musik&museum Aspekte Salzburgにて初演した作品。

## 2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

f 教育内容・方法の工夫および作成した教材・資料等	g その他教育活動上特筆すべき事項
---------------------------	-------------------

授業科目 作曲法研究Ⅲ		学生の、専門基礎部分の能力が落ちており、これをカバーするために、授業内で音楽理論を始め、様々な内容を加えての授業展開が必要となってきた。このために、本来必要な授業内容の達成が危ぶまれてきている。今後専門科目の教育内容の充実を図る為には、専門基礎科目の位置付けを再考し、入学前教育や休暇中の特別授業の実施を通じて、これの強化の必要があると思われる。
<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
作曲理論コース3年次の専門科目である。個々の学生に対し、少しでも調性音楽から脱皮させるために、12音技法の基礎や、近代から現代の新しい音の響きを、実例を示しながら授業を展開していく。これで得た知識をもとに、印象派以後現代までの音楽スタイルで作品を書かせる。	過去の著名な作品（近代～現代）の楽譜やCD。	
授業科目 対位法		
<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
演奏学科が対象であるため、対位法の概念的な授業を展開していく。前期では純粋対位法を過去の実例作品の分析を行い、その後、課題の実施をさせる。後期はインベンション（2声）を実施させる。対唱をこちらで与え、経過句も反復進行による和音進行を明示して、教育効果がある様配慮した。	ホセ・イグナチオ テホン「パレストリーナ様式による対位法」 バッハのインベンション、パレストリーナ作品の楽譜。	
授業科目 音楽制実習Ⅱ		
<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
本科目では、基本的にはカレドスコープ、並びにルネッサンスのための作品提供を目指す。またそれが卒業作品となる。学生のスキルにばらつきが大きいため、授業の大半を個人指導に費やしている。作品を作るにあたっては、電子メディアを最大限活用し映像とリンクした作品を含め、指導している。	各種音源。Max/Msp. その他の電子デバイス	
授業科目 管弦楽法Ⅱ		
<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
本科目では、標準2巻編成のオーケストレーションのテクニックの習得を目指す。古典からフランス近代の代表的な作曲家のオーケストレーションの特徴を分析を通じて検証し、簡易な楽曲のオーケストレーションを実施させる。	古典、ロマン、近代の代表的な作曲家のスコア、CDなど。	

### 3. 学会等および社会における主な活動

h 学会等の名称	i 活動期間	j 活動概要その他
カワイ音楽コンクール 中部本選会	2010.4	審査員

2007 カワイドリマトーンコンクール地区本選会	2010. 4.	審査員 講評
ヤマハグレード試験 3,4,5 級	2010. 4. 1～2011. 3. 31 現在に至る。	試験官
日本作曲家協議会	2010. 10. 1～2011. 3. 31 現在に至る。	会員
日本現代音楽協会	2010. 4. 1～2009. 3. 31 現在に至る。	会員